

人はなぜ服を着るのか

西田拓真

人はなぜ服を着るのか

心に負った傷を見られないようにするため

人はなぜコートを着るのか

世間の風評から身を守るため

人はなぜ帽子を被るのか

何を考えているのか頭の中を覗かれないため

人はなぜ手袋をするのか

自ら手を汚さずに事を進めたいから

人はなぜアイマスクをするのか

不都合な事実を目にしたくないから

人はか弱きもの

衣服という鎧を身に付けなければ生きられない
いつの世も平穏な日々はないのだから

僕と彼とを遮るもの

西田拓真

そこには厚さ数ミリのガラス板があった
彼に近づこうとしても無理だった
姿は見えても声は届かない
すれ違うたった三十センチの距離でさえ
このガラス板を何度も叩き壊そうとした
その度に腕が止まった
血まみれになり傷つくのが怖かったから
破片が突き刺さる痛み
今まで何度経験したことか

僕はただ彼と友人になりたかった
その硝壁をブチ破る勇気を持たずにいた
現実に存在しない僕の心に潜む見えない壁に